

「全国に誇れる・選ばれるまちづくり事業（日本一施策事業）」の選定（令和2年度実績）

[取組の種類]

	区分	考え方
①	独自性 (日本で唯一、宇都宮独自)	地域の資源やアイデアを活用し、宇都宮らしさや独創性・独自性があり、「宇都宮オリジナル」や「宇都宮モデル」として全国に誇れるもの
②	先駆的 (日本で先駆け)	市民ニーズや時代の趨勢を見据え、全国に先駆けて取り組むもの
③	トップクラス (日本でトップクラス)	活動量やその成果などが客観的・定量的に全国でトップクラスにあるもの

[取組一覧]

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
1	妊産婦に対する支援の推進	<p>子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、子どもに恵まれない夫婦への経済的支援及び安心して妊娠・出産できる支援として、不妊治療費や妊産婦医療費を助成</p> <p>【不妊治療費助成事業】 ・特定不妊治療(体外受精・顕微授精)費について、初回助成額は上限45万(一部17万5千円)、2回目以降は上限30万(一部17万5千円)まで助成 ・人工授精治療費について、上限3万2千円まで助成(年1回、通算2年)</p> <p>【妊産婦医療費助成事業】 ・母子健康手帳の交付を受けた月の初日から出産した月の翌々月(産褥期)までの妊産婦に対し、健康保険が適用となる医療費の自己負担分を助成</p>	トップクラス	H21年度	子ども家庭課
2	宮っ子の誓いの制定	<p>・「宮っ子の誓い」カードを市内の全小中学生等に配布し、「宮っ子の誓い大使」等の認定を行うことにより、誓いに関する意識の高揚及び積極的な活動実践を図る。</p> <p>・平成21年度から市内の全中学校に在籍する全ての生徒を対象とした「宮っ子表彰(義務教育9年間皆勤賞)」で表彰を実施</p> <p>・平成25年度には「宮っ子の誓い」に掲げる行動の実践を要件とした「宮っ子心の教育表彰」の制度を創設</p>	独自性	H19年度	教育企画課
3	学校応援制度	企業名等を掲載した学校用物品(用紙や封筒など)の寄附を積極的に募集する制度	独自性 先駆的	H22年度	教育企画課
4	返還免除型育英修学資金貸付制度	大学、短期大学、専門学校(専門課程)の在学者を対象に貸付するもので、奨学生が、最終学校卒業後1年以内に本市に居住し、引き続き、5年間居住を継続することを要件に、返還を免除する制度	独自性 先駆的	H27年度	教育企画課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
5	学校物品有効活用システムへのポイント制導入	学校物品有効活用システムを使用し、学校間の物品の貸借や譲り受けによりポイントを付与し、学校の配当予算に還元 ・地域学校園ごとに保有物品のリストを作成し、システムの利用拡大を推進	独自性 先駆的	H20年度	学校管理課
6	地域学校園事務室の推進	・中学校区を単位とする地域学校園(中学校1校と小学校2~4校)の学校事務職員で構成 ・地域学校園事務室長を配置し、共同事務を行うとともに、学校事務の効率化・平準化や教員の負担軽減、職場研修など、各地域学校園の実情に応じたさまざまな取組を実施 ・小中学校間での所管替えなど弾力的な予算執行が可能	独自性	H24年度	学校管理課
7	全小中学校へのインターネットバンキングの導入	・学校徴収金の管理運用において、事務処理の効率化を図るため、市内全小中学校でインターネットバンキングを導入し、直接金融機関へ出向くことなく、学校に居ながら金融機関への口座振替依頼や振込などの出納処理を実施	先駆的	H29年度	学校管理課
8	「小中一貫教育・地域学校園」の推進	・小中一貫教育カリキュラムを実施し、各教科等をはじめ、本市独自の「宮・未来キャリア教育」「宮っ子心の教育」「元気アップ教育」において、義務教育9年間を通した系統的な指導を行う。 ・各中学校区の小・中学校で構成する地域学校園において、地域ぐるみでのあいさつ運動や地域ボランティアによる学校支援などを行う。	独自性	H22年度	学校教育課
9	スタンダードダイアリーの活用による学校と家庭の連携推進	・児童生徒が連絡帳・生活ノートとして毎日使用するスタンダードダイアリー(学校教育スタンダード等、児童生徒の生活の指針となる内容や宮っ子の誓い、心を育てる50の言葉、【大人の行動規範】子どもの手本となる50の言葉、本市とゆかりの深い百人一首の成り立ちなどを掲載)を、本市立小・中学校の全児童生徒に配付・活用することにより、学校と家庭の連携を推進し、目指す児童生徒の姿の実現を図る。	独自性 先駆的	H20年度	学校教育課
10	「通学路交通安全プログラム」に基づく交通安全対策の推進	・全国に先駆け策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、教育委員会・学校、道路管理者、警察が合同で通学路の危険個所の点検を行い、対策を講じている。 ・さらに、本市独自に市内全68小学校の各学校周囲500mをスクールゾーンとして設定し、注意喚起のための路面標示及び看板を設置した。	独自性	H25年度	学校健康課
11	元気っ子健康体力チェック	全ての児童生徒を対象に、「新体力テスト」を実施し、本市独自に体力テストと食を含めた生活習慣に関するアンケート結果を分析し、児童生徒の体力向上や健康保持に活用する。	独自性	H21年度	学校健康課
12	小・中学校全校及び給食センターへの栄養士の配置	全市立小中学校で、質の高い給食の提供や食の指導を進められるよう、栄養教諭・学校栄養職員の未配置校へ、本市独自に学校栄養士業務嘱託員を配置した。	独自性 先駆的	H20年度	学校健康課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
13	「お弁当の日」の実施	食事について親子で共に考える機会を創出し、子どもたちの食への関心を高め、感謝の心を育むことなどを目的として、全市立小中学校で「お弁当の日」を年2回以上実施している。	独自性 先駆的 トップクラス	H20年度	学校健康課
14	魅力ある学校づくり地域協議会の設置・運営	・市内全93小中学校区において、①学校運営への参画機能、②学校教育の充実に向けた機能、③家庭・地域の教育力向上に向けた機能を併せ持つ本市独自の運営体制を構築 ・地域住民や保護者による学校運営への参画、地域コーディネーターによる学校支援ボランティアの調整など、学校と地域をつなぐ役割を担う。	独自性	H18年度	生涯学習課 学校教育課
15	教養講座「宮の朝活」の開催(前期・後期)	多忙で日ごろ講座などに参加できない20代から40代の働き盛り世代や大学生を対象に、早朝の時間を有効に活用し、魅力的な学習機会や体験の場を提供する教養講座を開催。講義前後の名刺交換や朝食をとりながら情報交換を行う時間等を設け、参加者間の交流を促進する。	独自性 先駆的	H25年度	生涯学習課
16	教養講座「宮の朝活」の開催(前期・後期)	多忙で日ごろ講座などに参加できない20代から40代の働き盛り世代や大学生を対象に、早朝の時間を有効に活用し、魅力的な学習機会や体験の場を提供する教養講座を開催。講義前後の名刺交換や朝食をとりながら情報交換を行う時間等を設け、参加者間の交流を促進する。	独自性 先駆的	H25年度	生涯学習課
17	うつつのみやこども賞	子どもの読書活動を啓発するため、日本人の作者による新作児童文学作品を対象に、市内の小学5、6年生公募委員が、その年の一番友だちに薦めたい本を選び、賞を授与する事業を日本で唯一実施。	独自性	S59年度	生涯学習課 (図書館)
18	子どもの読書推進(子どもの読書環境の充実に向けた図書館づくり)	・学校図書館が、読書センター・学習センター・情報センターとして、学校・地域の教育活動を支援する施設となるため、専門的な知識を有した学校図書館司書を全小・中学校に配置 ・南図書館に学校支援室を設置し、多くの児童に図書に触れてもらう機会を提供する「学校巡回図書」サービスや、学校の要望に合わせて、授業で必要とする資料を貸し出す「学校希望図書」サービスなどを学校図書館司書と連携して実施。 ・高校生との連携による事業の実施 ・高校生向け読書情報誌「MIYATEEN」発行(中央図書館)	先駆的 トップクラス	H18年度	生涯学習課 (図書館) 学校教育課
19	冒険活動教室の実施	・自然を活かした市有施設において、宇都宮市立の全小中学校を対象とした独自の自然体験活動、各学校の要望に応じた豊富な活動プログラムを実施(対象:小学5年、中学1年)	独自性	H8年度	スポーツ振興課
20	特別支援教室(かがやきルーム)の設置及び指導員の配置	通常の学級に在籍している発達障がい等の傾向がある特別な支援を必要とする児童生徒に対し、教育的ニーズに応じた支援を行うため、市独自に全93小中学校に特別支援教室(かがやきルーム)を設置するとともに、各校に専任の指導員を配置し、教育的ニーズに応じて個別や小集団の形態により、社会性を身に付ける指導や学習指導などを実施	独自性	H20年度	教育センター

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
21	地域・職域連携推進事業(職場における健康づくり応援サイト)	職場における健康づくりの重要性や健康づくりに関する新しい話題などの健康情報を掲載したサイトを、本市ホームページ内に開設し、事業主等が主体的に健康づくりに取り組めるようにした。	独自性 先駆的	R1年度	健康増進課
22	3つのプロスポーツチームによる健康教室(一般介護予防事業)	介護予防の普及・啓発を目的に本市をホームタウンとして活動する3つのプロスポーツチーム(栃木SC、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックス)の選手等によるストレッチや簡単な運動を行う教室を開催(平成29年度から一般介護予防事業として実施) ⇒複数の地域密着型のプロスポーツチームという本市独自の地域資源を活用した取組	独自性	H29年度	高齢福祉課
23	障がい者への合理的配慮の提供に係る周知啓発動画の作成・放映	・市民や民間事業者等に対して、障がい者への合理的配慮の提供を促進するための周知啓発動画 ・合理的配慮の具体的事例を障がい種別ごとに全6種類作成し、30秒動画として放映	独自性	H28年度	障がい福祉課
24	学生ボランティアの支援による「薬物乱用防止」啓発のためのマンガリーフレットや資料の作成	大学と連携した「マンガを取り入れた薬物乱用防止啓発冊子」の作成や、薬物乱用防止教室等で使用するスライドを作成するなど、学生ボランティアを育成し、学生の自主的かつ継続的な啓発活動を行えるよう支援	独自性	H27年度	保健所総務課
25	健康ポイント事業	・運動や検診の受診などの健康づくり活動に対してポイントを付与し、貯まったポイントに応じて協賛企業提供物品等を提供する。 ・「自転車のまちうつのみや」の取組と連携して、「自転車に乗る」活動をポイント付与の対象とするほか、地元プロスポーツチームと連携し、試合会場を訪れた人にポイントを付与している。 ・歩数などのランキングを表示する機能やグループ機能により、励まし合いながら健康づくりに取り組めるほか、健康情報の提供も可能とした。	独自性 先駆的	H30年度	健康増進課
26	高齢者グループホームにおける国基準を上回る居室床面積の設定	国基準を上回る居室床面積を市条例で規定	独自性	H24年度	保健福祉総務課
27	障がい児発達支援の推進	・全国に先駆け、子ども発達センターを設置し、保健師や保育士、理学療法士等の専門職により、相談から療育まで一貫して対応 ・また、保育園併設専用施設において、発達が気になる乳幼児及びその保護者が自由に利用できる広場を開設し、親子の交流の場を提供するほか、親子の遊びや保育園児との交流を通して心身の発達を促すとともに、子育てに関する相談や助言、必要に応じて関係機関への紹介を行う。	独自性 先駆的	H19年度	子ども発達センター 保育課
28	地域別データ分析の実施	本市の健康寿命の延伸に向けた科学的な根拠に基づく新たな施策・事業の展開(EBPMの推進)に活用するとともに、市民一人ひとりの主体的な健康づくりへの取組につなげるため、地域別データ分析により、市民の健康状態に関する市域全体や地域別の特性・課題を明らかにする。	独自性	R1年度	高齢福祉課 保健福祉総務課 健康増進課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
29	政策特集の作成	市政の重要課題等の特集を組み、広報紙の添付ハガキ等により、市民の意見や提案を聴取(年4回)	独自性	H15年度	広報広聴課
30	グリーンアンドレッドリボン運動	市民や地域、事業者などあらゆる機関、団体が一丸となって飲酒運転を許さない地域づくりを進めるために、GRリボンを交通安全運動や地域イベントなどの機会、事業者、学校などを通して市民に配布することで、飲酒運転根絶に係る気運を醸成する。	独自性	H18年度	生活安心課
31	消費生活相談窓口の常時開設	市民が安全で安心な消費生活が送れるよう、年末年始を除き、毎日、相談窓口を開設し、市民からの相談に適切かつ迅速に対応	先駆的 トップクラス	H19年度	生活安心課
32	女性活躍啓発事業 (仕事と子育て家庭のインターンシップうつつのみや事業)	大学生等が、仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる企業と、その従業員の家庭を訪問し、「企業が取り組んでいる子育て支援」や、「当該家庭の家事・子育て」の状況を体感することなどを通じて、就業継続意識の醸成を図るとともに、本市で就業することの魅力を知ってもらい、首都圏への転出防止に繋げる。	先駆的	R1年度	男女共同参画課
33	まちづくり活動応援事業	市民、NPO、企業等が容易にまちづくり活動情報を発信・入手ができ、まちづくり活動に参加しやすい仕組みにより、活動参加の「きっかけづくり」と活動継続の「励み」を創出することにより、まちづくり活動への参加者の増加や活発化を図るもの	独自性 先駆的	R1年度	みんなでまちづくり課
34	国・県・市災害対策連絡協議会の設置	市域における災害の発生時において防災関係機関が連携し、迅速かつ的確な対応ができるよう、自衛隊・警察・県・市・消防で構成する組織の運営と合同訓練の実施	独自性 先駆的	H19年度	危機管理課
35	宇都宮市移住・定住アプリの配信	スマートフォン、タブレット等の携帯情報端末機を活用した、移住・定住に関する情報(働く、住まい、子育て・教育、楽しむ)の発信	独自性 先駆的	H29年度	政策審議室
36	宇都宮ブランド戦略事業の推進	・市民参加型都市ブランド戦略「宇都宮プライド」の展開 ・情報発信拠点としてアンテナショップ「宮カフェ」を中心商店街に設置、運営 ・宇都宮の暮らしの良さを伝える「ダブルプレイス(2地域生活)」の発信	先駆的	H20年度	広報広聴課
37	おもてなし運動の推進	本市来訪者の満足度向上を図るために、「おもてなし推進委員会」と連携して市民のおもてなしの心の醸成を図るとともに、民間事業者と一体となって受入環境の向上を図る。	独自性	H17年度	観光交流課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
38	餃子を活用した観光誘客	餃子の消費量が高く、知名度の高い「宇都宮の餃子」を活かした観光事業を展開し、本市の集客力をさらに高める。	独自性	H30年度	観光交流課
39	ジャパンカップサイクルードレースの開催	・アジア最高位の自転車ワンデイロードレース「ジャパンカップサイクルードレース」を開催 ・世界で活躍するチーム・選手による高質なレースの提供のほか、幅広い世代が楽しめる多彩な付帯イベントを実施	トップクラス	H4年度	都市魅力創造課
40	FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya の開催	・FIBA(国際バスケットボール連盟)が主催する3人制バスケットボールの世界大会を開催 ・大会開催に併せ、街なかのイベントとの連携や、県内小学生対象の宇都宮市長杯等を実施	トップクラス	H28年度	都市魅力創造課
41	施設愛称によるプロスポーツ応援事業	本市を拠点に活動するプロスポーツクラブに対する市民の愛着と連帯感の醸成、及び本市のブランド力向上を目指すために、市有施設にプロスポーツクラブ名を冠した愛称を付与	独自性	H21年度	都市魅力創造課
42	大谷地域資源活用事業(冷熱エネルギーを活用した大谷地域の振興)	大谷ならではの地域資源である冷熱エネルギーを活用し、大谷夏いちご栽培事業などの取組を推進し、大谷地域の振興を図る。	独自性	H24年度	都市魅力創造課
43	百人一首のまちづくり	・大会事業として、平成7年の市政100周年を機に本市ゆかりの「百人一首市民大会」を開催。一般市民を対象とした公的機関が主催する大会としては全国最大規模であり、平成26年度からは、「蓮生記念全国競技かるた宇都宮大会」を開催 ・令和元年度は、百人一首市民大会において「同時にかかる遊びをした最多人数」のギネス世界記録を達成(記録:701人) ・普及啓発事業として、「人づくりフォーラム」などのイベント時に百人一首体験等を実施 ・小中学生に配布する「宇都宮市スタンダードダイアリー」や「宇都宮学(小学校版)」に本市と百人一首の関わりを掲載し、郷土への理解や愛着を醸成	独自性 トップクラス	H8年度	文化課
44	エスペール文化振興事業	・文化芸術活動が顕著で、今後の活躍が期待できる本市ゆかりの芸術家に賞や育成金を授与し、育成・支援 ・地元の若手芸術家を育成・支援する取組を行っている自治体は稀有	独自性	H13年度	文化課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
45	妖精によるまちづくりの推進	・妖精をテーマとした公立展示施設「妖精ミュージアム」を拠点に、妖精資料を活用した文化振興・中心市街地活性化に向けた取組を展開 ・妖精をテーマとした取組は、福島県金山町の「妖精美術館」があるが、当施設は冬季休館であり、通年で楽しめる施設は「妖精ミュージアム」のみ	独自性	H19年度	文化課
46	「大谷石文化」の日本遺産認定	・本市に根付く「大谷石文化」のストーリーを作成し、単一の市町村でストーリーが完結する「地域型」の日本遺産の認定を受ける。 ・日本遺産認定を契機とし、官民協働の「大谷石文化推進協議会」を設立し、大谷石の保存・活用を通じた地域活性化事業に取り組む。	独自性 先駆的	H30年度	文化課
47	大谷石蔵(旧公益質屋)の活用事業	地域資源である大谷石蔵(築70年超)を民間レストランとして活用	独自性	H21年度	地域政策室
48	宇都宮市民遺産制度(みや遺産)の推進	市民や地域に愛され、親しまれてきた歴史文化資源を認定し、その保存活用に取組む団体の活動を支援する制度であり、地域や社会全体で歴史文化資源を継承する仕組みをつくることを目的とする。	独自性	R2年度	文化課
49	もったいない運動の推進	ひと・もの・まちを大切にす本市独自のもったいない運動について、「もったいない運動市民会議」と連携し、更なる認知度の向上と実践者の拡大を図る。	独自性 先駆的	H17年度	環境政策課
50	自立分散型の再生可能エネルギー等の普及促進(家庭向け低炭素化普及促進補助事業)	冬季の日照時間が長いという、本市の地域特性を活かした太陽エネルギーの利活用により、家庭からの温室効果ガス排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システムを軸とした自立分散型エネルギーの利用を促進する。	トップクラス	H28年度	環境政策課
51	地域新電力会社による再生可能エネルギーの地産地消の推進	官民共同出資による「地域新電力会社」を設立し、本市が保有するバイオマス発電や家庭用太陽光発電による再生可能エネルギーを買い取り、公共施設の一部やLRTへ供給することで再生可能エネルギーの地産地消を推進する。	独自性 先駆的	H28年度	環境政策課
52	はじめてごはん事業	1歳6か月を迎えた子どもと保護者に対して、特色ある宇都宮産米と啓発パンフレットを配布する「はじめてごはん事業」を実施し、宇都宮産米の認知度を高め、米の消費拡大に繋げるとともに、食育や地産地消の重要性、農業の大切さなどへの理解を深めてもらう。	独自性 先駆的	H27年度	農林生産流通課

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
53	げんきにごはん事業	新たなライフステージに進んだ新小学1年生・新中学1年生と保護者に対して、特色ある宇都宮産米と啓発パンフレットを配布する「げんきにごはん事業」を実施し、宇都宮産米の認知度を高め、米の消費拡大に繋げるとともに、食育や地産地消の重要性、農業の大切さなどへの理解を深めてもらう。	独自性 先駆的	H28年度	農林生産流通課
54	じぶん×未来フェアの実施	高校生を対象に、将来、市内企業への就職を選択してもらえるよう、市内企業の魅力の理解促進を図り、市内企業における若い人材の確保を促進する	先駆的	R1年度	商工振興課
55	東京圏における交流・活動拠点の設置 (宇都宮サテライトオフィス事業)	都内に設置した「宇都宮サテライトオフィス」を活用し、東京圏の企業等とのビジネスマッチングや、企業の誘致、本市魅力の発信などの事業を効果的に展開	先駆的	R2年度	産業政策課
56	交通ICカード導入支援	運賃支払の簡略化と、これに伴う定時性・速達性の向上・乗り継ぎの円滑化など、公共交通の利便性向上	先駆的	H25年度	交通政策課
57	地域住民が主体となった地域内交通の実施	地域住民が主体となり、運行計画を決定し、地元自治会や企業等から協賛金を募るなど、地域内交通を運営(地域の実情に合わせた独自の運行方式)	独自性	H19年度	交通政策課
58	「自転車のまち宇都宮」の推進	・市民や民間事業者、プロスポーツチーム等と連携した各種自転車関連施策の展開による本市独自のまちづくり推進 ・自転車専用通行帯の規制延長が全国一位	独自性 トップクラス	H22年度	道路建設課
59	NCC推進に向けた 市街化調整区域の土地利用の推進	立地適正化計画による市街化区域の都市機能誘導等の取組に加えて、本市独自の市街化調整区域の地域拠点区域における都市計画制度の効果的な運用により、都市全体を見渡した観点からNCC形成を推進	先駆的	H29年度	都市計画課 NCC推進室
60	LRTと一体となった沿線まちづくりの推進	LRT導入を契機として、市民・事業者・行政等が協働しながら、魅力ある沿線まちづくりを推進	先駆的	H30年度	都市計画課 NCC推進室



No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
61	組合施行による市街地再開発事業の推進	組合施行による市街地再開発事業の完了地区数8地区	トップクラス	S57年度	市街地整備課(再開発室)
62	水道料金等の収納率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道料金:98.54% (R1年度 中核市2位)</li> <li>・下水道使用料:98.07% (R1年度 中核市2位)</li> </ul>	トップクラス	H20年度	サービスセンター
63	安全で良質な水への取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松田新田浄水場においてH17年にISO9001を、水質管理室においてH20年に水道GLPを取得 (「ISO9001」と「水道GLP」の両方取得は中核市初)</li> <li>・「平均残留塩素濃度」の低さが中核市1位(H30年度末) (平成30年度水道事業ガイドライン(JWWA Q 100)に基づく業務指標公表値調査結果 )指標一覧より)</li> </ul>	先駆的 トップクラス	H20年度	水道管理課
64	水道施設におけるクリーンエネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道施設の機能や特徴を活かしたクリーンエネルギーを導入(太陽光発電設備, 小水力発電設備ともに中核市初)</li> <li>・「再生可能エネルギー利用率」が中核市1位(H30年度末) (平成30年度水道事業ガイドライン(JWWA Q 100)に基づく業務指標公表値調査結果 )指標一覧より)</li> </ul>	先駆的 トップクラス	H19年度	水道管理課
65	水道事業における環境負荷の低減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の低減を評価する指標である「配水量1m<sup>3</sup>あたりCO<sub>2</sub>排出量」の少なさが中核市3位(H30年度末) (平成30年度水道事業ガイドライン(JWWA Q 100)に基づく業務指標公表値調査結果 )指標一覧より)</li> </ul>	トップクラス	H19年度	水道管理課
66	SDGs未来都市の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsのゴールと方向性が概ね合致している総合計画で掲げた「6つの未来都市」の実現に向けた戦略的な取組の推進</li> <li>・SDGsに対する宇都宮市全体での理解促進と市民・事業者とのパートナーシップの基盤強化</li> <li>・地域新電力会社において、地域課題の解決を図るシュタットベルケの構築</li> </ul>	トップクラス	R1年度	政策審議室 環境政策課 産業政策課
67	スマートシティの推進	ICT(情報通信技術)が人やモノの活動をサポートし、様々な分野における市民の身近な暮らしの利便性向上や活力あるまちの形成を図る。	先駆的	R1年度	スーパース マートシティ 推進室

No.	取組名	概要	区分	開始年度	所管課
68	市税納付推進協力事業所制度の推進	<p>誰もが納期内に市税を納めることができるよう、市が行う納税意識の啓発や収納対策に対し、本市と連携して従業員に積極的に働きかけを行う事業所を登録する制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録事業所は、市が送付する税情報の従業員への周知や口座振替の取りまとめなどに協力</li> <li>市は、税に関する出前講座の開催や市税相談など事業所への支援や、特に優れた取組を行った事業所の表彰、PRなどを実施</li> </ul>	独自性	H30年度	納税課
69	オリジナル婚姻届の作製等	<p>本市の特色をイメージしたイラストを施したオリジナル婚姻届や、本市の食・観光・住みよさなどの特色を掲載した冊子の配布などにより、カップルの門出を祝福するとともに、本市の魅力を市内外にアピールすることで、宇都宮市に「住んでみたい」「住み続けたい」と思う気持ちの醸成を図る。</p>	独自性	R1年度	市民課